

施策名：文化財・伝統文化の保存・活用・継承

事業名	担当課・室名	ページ
地域の文化財魅力度アップ事業	文化課	2 / 3
特別展開催事業	文化課	3 / 3

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	地域の文化財魅力度アップ事業		事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいの推進
				施策区分	文化財・伝統文化の保存・活用・継承		
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	文化課		評価者	文化課長 佐藤 晃洋

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域の観光拠点となり得る市町村の文化財について、観光素材として主体的に活用する意識が低い。また、観光誘客につなげるため、文化財の新たな魅力の発信が課題となっている。	事業の目的	県ツーリズム戦略に基づき、ストーリー性のある文化財の整備活用のアクションプランを各市町村が策定し、それに基づき、観光素材としての文化財に磨きをかけるとともに、文化財を核とした観光の振興を図る。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
①計画策定等に係る連絡協議会の開催 アクションプラン策定6市の文化財活用プランや事業計画等の情報共有 ②文化財の集中整備 アクションプランに基づく文化財の重点的な修理工整備(6件) ③文化財修復現場公開の実施 アクションプランに基づき整備文化財等の修復現場等を一般に公開し、文化財の新たな魅力を発信(12件、15,006人)		・修復現場等公開や観光振興等に係る各市町村の成果及び課題を連絡協議会等で共有		総コスト	21,548	36,090		
				事業費	20,548	35,090		
				(うち一般財源)	20,548	27,301		
				(うち繰越額)	211	7,789		
				人件費	1,000	1,000		
				職員数(人)	0.10	0.10		
活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	文化財の集中整備実施累積件数(件)	目標値	20	28		28	a	・修理工等調整及び関係機関への周知を早めに行うことによる確実な修復現場等公開の実施 ・修復現場等公開の実施状況等に関し、県・市町村・関係部局との情報共有 ・知名度が十分ではない文化財に関する情報や魅力発信の強化
		実績値	20	26		26		
		達成率	100.0%	92.9%		92.9%		
		目標値						
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	文化財の修復現場等見学会への参加者数(人)	目標値	5,000	5,500		5,500	a	市町村教委、関係部局及び報道機関等と連携した情報発信が奏功し、文化財の修復現場等の公開参加者数がさらに増加した。
		実績値	11,635	15,006		15,006		
		達成率	232.7%	272.8%		272.8%		

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・事業目的が達成されたため終了				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	特別展開催事業		事業期間	昭和 56 年度～平成 年度	政策区分	芸術文化による創造県おおいとの推進
					施策区分	文化財・伝統文化の保存・活用・継承
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	文化課	評価者	文化課長 佐藤 晃洋

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県立歴史博物館は、地域に残る文化と文化財を未来に伝えるため、各種調査事業や文化財保存事業を実施し、これらによって得られた成果を展示及び教育普及活動に反映させている。しかし利用者数が少ない年度もあり、「学びの場」として広く県民に活用してもらおうことが課題である。	事業の目的	特別展では、平常展や他の企画展ではなかなか見られない文化財資料を県内外から広く収集・展示し、様々な視点から歴史と文化に触れる機会を県民に提供することで、入館者数の増加を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①特別展「キリスト教王国を夢見た大友宗麟」開催 大友宗麟の庇護により栄えた県内のキリシタン文化を紹介するため、重要文化財を含んだ文化財資料を展示(H27.10.16～H27.11.23、34日間、4,691人) ②記念講座「キリスト教王国を夢見た大友宗麟」及び関連講座「特別展の見どころ解説」開催 五野井隆史(東京大学名誉教授)らによる記念講座並びにパネルディスカッション及び担当研究員による見どころ解説講座(各1回)	・より多角的に展示内容や研究成果を伝えるため、複数の研究者によるパネルディスカッションを実施	総コスト	18,121	17,814	17,579
		事業費	8,521	8,214	7,979
		(うち一般財源)	4,115	4,651	5,094
		人件費	9,600	9,600	9,600
		職員数(人)	0.96	0.96	0.96

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成年度	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
活動指標	特別展入館者数(人)	目標値	8,000	8,000	6,000		c	・県民の関心・興味を惹く展示や関連講座の企画 ・児童生徒が楽しめる展示企画や関連イベントの実施 ・前売券の販売も含め、広報活動の早期実施 ・26年度に開設したフェイスブックやテレビなど各種媒体を活用した広報活動の強化	
		実績値	7,355	4,691					
		達成率	91.9%	58.6%					
	特別展講座受講者(人)	目標値	150	150	150				
		実績値	173	197					
		達成率	115.3%	131.3%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成年度	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	年間利用者数(人)	目標値	46,765	47,000	47,000		a	特別展での入館者は、26年度に比べ大きく減少した。県北在住の県民にとって馴染みの薄いテーマであったことも減少の一因であると思われるが、県立歴史博物館と普段縁のある仏教関係者に対するの広報が困難であったことも要因だと考えられる。	
	実績値	53,800	64,894						
	達成率	115.0%	138.1%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・28年度は「生誕200年記念 賀来飛霞(仮称)」と題し、幕末日本における三大草学者の一人とされる賀来飛霞をテーマとした特別展を開催 ・日本の自然を幅広く丹念に記録した飛霞の本草研究の真髄を、ゆかりの文化財を展示することにより紹介 ・飛霞の生誕地である宇佐市との連携を検討				